

**美田村顯教** 武術家。薙刀術師範。近代における女子薙刀術の作興に尽くし、古伝を現代に伝えた。

みたむらぎのり

北斎没・・・1849 = 丹波国桑田郡龜山(京都府亀岡市)で、龜山藩士美田村隼人正農の子に生まれる。

**ペリー来航**・1853 = 4歳 :

\_幼少から広く武術を修め、

五ヶ国条約・1858 = **9歳** : 藩の師範役下河原一弘に入門、天道流兵法を修行する。

安政の大獄・1859 = 10歳 : 家督を継ぐ。知行高300石。

**桜田門外変**・1860 = 11歳 : \_以降、大藏派弓術、大坪新流馬術、稲富流砲術も学び、

8月18日政変 1863 = 14歳 : \_天誅組の変に際しては、藩命によりしばしば鎮定のため出動を重ねる。

禁門の変・・・1864 = 15歳 : \_藩が西洋式兵制を採用したため、高島流砲術と蘭・英式兵法を学び、

大政奉還・・・1867 = **18歳** :

明治維新・・・1868 = 19歳 : \_高島流砲術の免許も受ける。

廃藩置県・・・1871 = 22歳 : 結婚し、\_廃藩後、

**明治6年政変** 1873 = 24歳 :

製糸業・材木商など始め、

三つの内乱・1876 = **27歳** :

写真術も修得。

\_各種の実業を試みる事十余年、いずれにも成功せず、

**明治14年政変** 1881 = 32歳 :

\_日本の伝統的価値が忘れられて行くのを嘆いて、自己の特技たる武術教育を考えるに至り、

内閣発足・・・1885 = **36歳** : \*同志と計って郷里龜岡に{生徳社}という教場を設け、自身は天道流の剣術・薙刀術の指南を始める。

やがて、\_その風聞が広まり、

**帝国憲法発布** 1889 = 40歳 :

帝国議會始・1890 = 41歳 : \_山階宮晃親王の望みにより、薙刀術を台覧に供している。

大津事件・・・1891 = 42歳 : \_下河原一霍から天道流兵法の旨伝を受け、

やがて\_京都にも出張教授するようになり、

**日清戦争始**・1894 = **45歳** : \_皇族の御前で天道流薙刀術を演武、

**日清戦争終**・1895 = 46歳 : \*京都に{大日本武徳会}が設立されると、その発展に協力し、

日比谷公園・1903 = **54歳** :

日露戦争始・1904 = 53歳 : \*同会薙刀術助教授を依頼され、京都に移住。

日露戦争終・1905 = 56歳 :

次第に、\_同志社高女・京都府立第二高女・同第一高女・滋賀県立女子師範・同県立大津高女などにも薙刀術を教授して行く。

**明治天皇没**・1912 = **63歳** :

**第一次大戦始** 1914 = 65歳 : \_同会薙刀術教授となり、

**原敬首相暗殺** 1921 = **72歳** :

護憲三派圧勝 1924 = 75歳 : \_{大日本武徳会}から、薙刀術範士の称号を受領して、

海軍軍縮条約 1930 = **81歳** :

**満州事変**・・・1931 = 82歳 : 京都市左京区岡崎の自邸で、\_没した。

インターネット、